

第1回ジュニアチャレンジカップ 要項 Ver1.2

- 主催** 特定非営利活動法人 尾張JPスポーツ
- 後援** ナガセケンコー株式会社、中日新聞社 順不同
- 協賛** スポーツデポ 小牧店、株式会社マルエ、バッティングセンターららら 順不同
- 1. 主旨** 本大会は、ティーボールから軟式ボールへ移行する大切な時期にある選手たちが、実戦を通して野球の楽しさと難しさを学び、次のステップへ自信をもって進むことを目的としています。勝敗だけでなく、ルール理解、仲間との協力、フェアプレイの大切さを経験する場とします。地域の子どもたちに野球の楽しさと挑戦の機会を広げるために、4年生以下の児童を対象に、試合経験を積む機会として実施される。
- 2. 参加資格** 小学4年生以下の男子、小学5年生以下の女子とする。
合同チームでの出場も可とする。
※スポーツ傷害保険に加入していること。
- 3. 監督者会議** 令和8年8月22日(土) 開会/午後2時15分～ 受付/午後2時00分～
いちい信金スポーツセンター(一宮総合運動場) 会議室
住所: 愛知県一宮市千秋町佐野字向農756 Tel: 0586-77-0500
- 4. 開会式** 開会式は行いません。
- 5. 会期** 令和8年8月29日(土)～12月27日(日)まで
※チーム数によっては期日を設定し、大会消化にご協力をお願い致します。
決勝戦 令和8年12月26日(土)《予備日》12月27日(日)
いちい信金スポーツセンター(一宮総合運動場) 野球場A面 午前10時開始
決勝戦終了後表彰式(若葉教育リーグの表彰も行う)
- 6. 参加費** 1チーム 6,000円 ※抽選会時徴収します
- 7. 実施方法** トーナメント方式 3位決定戦は行わない
- 8. ルール**
- ①試合は5イニングまたは70分を過ぎたら新しいイニングに入らない。
 - ②コールドゲームは3回以降12点、4回以降7点以上が生じた場合に適用とする。
 - ③同点の場合は、次の通りとする。
 - 1)無死走者満塁の状態から1イニング行い、得点の多いチームが勝者とする。
前回の打順の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁走者とし、無死満塁で開始します(継続打順)。
 - 2)それでも決着がつかない場合は、最終メンバーによる抽選で勝敗を決定する。
 - 3)決勝戦も同様とする。
 - ④スリーアウトチェンジとする。
 - ⑤ボークは注意(指導のみ)のみとする。
 - ⑥投球間は14mとし、塁間は21m、本塁・二塁間は29.7mとする。
 - ⑦投手の1日あたりの最大投球数を60球とする。(全学年)
趣旨を理解して頂き、チームスコアラー(記録員)を活用するなど、チームの自主管理をお願い致します。
 - ⑧選手登録は当日のメンバー表を有効とする。
 - ⑨試合途中の降雨、日没等で続行不可となった場合は、3回表裏をもって試合成立とする。
 - ⑩上記以外及びグラウンドルール以外は、公認野球規則及び競技者必携を適用とする。
 - ⑪指名打者制(DH制)を採用することができる。(※別紙参照2)
(競技者必携 P50 及び公認野球規則 5.11 参照)ただし二刀流は採用しない。
 - ⑫投手の12秒及び20秒ルールは適用しない。
 - ⑬バッターボックスルールは適用する。(※別紙参照1)
 - ⑭守備、攻撃タイムの回数制限は、2回までとする。(※別紙参照3)

- ⑮頭部にヒット・バイ・ピッチを受けたとき、その程度を問わず、球審は臨時代走者の処置を行わなければならない。
- ⑯試合前のシートノックは大会運営上行わない場合もある。
- ⑰シートノック時の補助員のヘルメットを着用すること。
- ⑱ファウルボール拾いは攻撃側チームが回収し、球審に手渡しする。
9. 審判
- ①各チームから2名ずつ出して、4人制とする。尚、3人制でも可。
- ②主審はグラウンド提供チームとする。
- ③決勝戦のみ大会本部で行います。
- ④**審判員の服装はふさわしい服装**(ジャージ等可)でお願い致します。
- ⑤**球審は、1回表及び1回裏開始前、投手へ新しいボール(未使用球)を手渡すこと。**
- ⑥**審判員は、選手への指示行為やヤジ、暴言は禁止とする。**
10. 表彰
- 上位2チームを表彰とする。**
- ★優勝チーム…優勝カップ(持ち回り)、賞状、優勝メダル(15個)、最優秀選手賞1名
- ★準優勝チーム…準優勝トロフィー(持ち回り)、賞状、敢闘賞1名
- 決勝戦終了後、表彰式を行います
- 決勝戦 12月26日(土) 一宮総合運動場野球場A面
- 予備日 12月27日(日) 一宮総合運動場野球場A面
11. 特別表彰
- 本大会では、若葉教育リーグの理念に沿った取り組みが見られたチームを対象に、特別表彰を行います。
- なお、選考の参考資料として、大会期間中に実施する**審判チェック簡易フォーム**等を活用し、リーグ戦およびトーナメント大会の全日程終了後、大会本部にて協議のうえ決定します。
- 表彰対象チームには後日大会本部より連絡のうえ、別日に大会役員が出向き表彰を行います。**全て賞状とさせていただきます。**
- ※本表彰は順位・勝敗とは関係ありません。
- チャレンジ賞⇒失敗を恐れず挑戦する姿勢が見られたチーム
 - フェアプレイ賞⇒ルールや相手を尊重し、模範的な行動が見られたチーム
 - 若葉賞(教育賞)⇒大会を通じて教育的観点から特に評価されたチーム
12. 確認事項
- ①試合開始時間の30分前に試合のできる状態で集合すること。
- ②試合球は、**ナガセケンコーボール**号を試合前に2個提出する。
- ③グラウンドルールに関しては会場提供チームの指示に従うこととする。
- ④監督、コーチ(20歳以上でなければならぬ)、選手は、ユニフォーム着用すること。
※合同チームの場合はユニフォーム統一規定を除外する。
- ⑤投球練習時のキャッチャーはコーチが務めてかまわない。
- ⑥捕手は、マスク、プロテクター、レガース、ヘルメット、ファウルカップを着用すること。
- ⑦打者、走者、コーチャーは、両耳ヘルメットを着用すること。(統一規制はしないとする)
- ⑧使用バットについては、2029年より、学童部においては小学生軟式用も使用禁止とし、少年部においても外表面にウレタン、スポンジ等の素材の弾性体を取り付けたバットの使用を禁止する。
 なお、上記以外のバット(木製・金属製・カーボン製・複合(金属/カーボン))については、使用制限を行わない。
※⑥⑦⑧については『J・S・B・Bのマーク』又は『SG マーク』の付いているものとする。
- ⑨スパイクの色は自由とするが、金属スパイクは禁止とする。
- ⑩ベンチ入りは、代表、監督(30)、コーチ(28, 29)、スコアラー等、計5名以内とする。
- 1) 選手の背番号は0番から99番までとする。
 - 2) ベンチ入りの人数については制限しない。

- ⑪守備の時間が長い場合(概ね20分)には健康維持を考慮し、審判の判断で給水タイムを設けることができる。(試合時間に入れない)。
 - ⑫グラウンド整備を含む試合会場の後片付けは、両チーム協力のもと行うこと。
 - ⑬プレイを利用して相手選手を欺く行為(アンフェアプレイ)を禁止とする。
 - ⑭マナーを守った節度ある応援をしてもらうように取り組む
 - ⑮試合中ベンチ内での携帯電話、タバコは一切禁止とする
 - ⑯選手の競技中の事故やケガについては、各チームの責任において応急処置を行うこと。
※主催者側での責任は一切負いませんので、ご了承下さい。
 - ⑰各試合会場での、大会役員の立ち会いは原則行わないとする。
 - ⑱試合日程は、グラウンド提供チームが大会本部に連絡して下さい。
 - ⑲試合結果報告は、勝利チームが大会本部に結果報告を報告して下さい。
 - ⑳試合結果は、随時ホームページで更新しますが、都合上により遅れることがあります。
- ※同一試合での投手と捕手の兼任禁止について
2027年(令和9年度)から導入となりますが、監督者会議に議論とする。